

2020年度 同志社大学奨学金制度一覧表（大学院）

名 称	種 類	金 額	対 象		採用者数 [出願者数]	願書 入手時期	出願期間*4	採否決定	備 考
			家計基準	成績基準					
同志社大学 大学院奨学金	給付	年額 授業料相当額の1/2	専門職学位課程は対象外		〈前期課程〉 350 [744] 〈後期課程〉 15 [19]	*3 3月下旬～	*3 4月上旬	*3 6月中旬	給付期間：1か年 (毎年出願可)
			本人の収入金額 給与収入：841万円以下 営業所得：355万円以下	成績良好であること					
同志社大学 大学院 特別奨学金	給付	年額 授業料相当額に 120,000円を加えた額	前期課程及び一貫制博士課程の在学2年以内の者のうち、研究科長に推薦された学力、人物ともに特に優秀かつ研究者として適格な者 (脳科学研究科、専門職学位課程は対象外)		28	公募はしない		*3 6月中旬	給付期間：1か年
同志社大学大学院 脳科学研究科 特別奨学金	給付	年間学費（入学金（入学時のみ）、授業料、教育充実費、実験実習料及び特別在籍料（適用学期のみ））相当額	入学時32歳未満（転入学時34歳未満）で、脳科学研究科に推薦された学修意欲のある者		26	公募はしない		入試合格と同時	給付期間：1か年 ただし、所定の継続審査により、標準修業年限を上限に継続することがある。 採用者数には継続者を含む。
同志社大学大学院 博士後期課程若手 研究者育成奨学金	給付	年間学費（入学金（入学時のみ）、授業料、教育充実費、実験実習料及び特別在籍料（適用学期のみ））相当額	後期課程に在学している入学時34歳未満の者及び一貫制博士課程に2年以上在学している入学時32歳未満の者のうち、各研究科に推薦された学修意欲のある者 (脳科学研究科は対象外)		232	公募はしない		入試合格と同時	給付期間：1か年 ただし、所定の継続審査により、標準修業年限を上限に継続することがある。 採用者数には継続者を含む。
同志社大学 寄付奨学金	給付	年額 100,000円	研究科長に推薦された学力・人物ともに優秀な者		5	公募はしない		5月下旬	給付期間：1か年
同志社大学 貸与奨学金 (秋期募集) (2016年度以前 入学生対象)	貸与 (無利子)	年額 ①授業料相当額の1/2 ②授業料相当額	学部生向け日本学生支援機構奨学金（第一種）に定められている収入基準額以下の者から選考します。		① 0 ② 0 [0]	7月中旬 ～	8月～ 9月	11月中旬	貸与期間：1か年 (毎年出願可) 最短修業年限+1年まで出願可 外国人留学生は出願不可 返還は原則として修了後10年以内
同志社大学 短期貸付金	貸与 (無利子)	①一般貸付 30,000円以内 ②特別貸付 100,000円以内	やむを得ない事情で、一時的に生活費支弁が困難になった者		① 0 ② 0	緊急の場合に随時 (事務室開室時間)			一般貸付の返還は3か月以内、特別貸付は10か月以内の月賦返還
日本学生支援機構 大学院 第一種奨学金	貸与 (無利子)	月額 下記金額から選択制 〈前期課程〉 50,000円 88,000円 〈後期課程〉 80,000円 122,000円	本人および配偶者の収入金額の合計額	成績が特に優れ、学術研究者として適格と認められる者	〈前期課程〉 261 [263] 〈後期課程〉 14 [14] 〈司法研究科〉 13 [14]	3月下旬 ～	4月上旬	7月上旬	貸与期間：標準修業年限まで外国人留学生は出願不可 新入生には、初回振込時、10～50万円増額可能な制度あり 第一種奨学金には「特に優れた業績による返還免除」制度（博士(後期)課程等の「採用時返還免除内定」制度含む）あり 第二種奨学金の利率の上限は3% 第二種奨学金において、司法研究科生が最高金額を選択した場合は40,000円又は70,000円の増額が可能 返還は借用総額により異なるが修了後10～20年以内 一貫制博士課程の1・2年次生は前期課程に、3～5年次生は後期課程に準ずる 出願・採用実績の前期課程にはビジネス研究科を含む
			〈前期課程〉 299万円以下 〈後期課程〉 340万円以下		〈前期課程〉 16 [73] 〈後期課程〉 0 [2] 〈司法研究科〉 2 [6]				
日本学生支援機構 大学院 第二種奨学金	貸与 (有利子)	月額 下記金額から選択制 50,000円 80,000円 100,000円 130,000円 150,000円	本人および配偶者の収入金額の合計額	成績が平均水準以上で、特定の分野において特に優れた資質能力があると認められる者	〈前期課程〉 16 [73] 〈後期課程〉 0 [2] 〈司法研究科〉 2 [6]				
民間・地方 公共団体 奨学金	給付 または 貸与	各奨学団体により異なる	各奨学団体により異なる (大学推薦団体は成績優秀者)		19	3月下旬より随時受付			貸与の場合は各奨学団体により異なるが修了後10～15年以内に返還

●修士課程は、前期課程に準じます。

(*1) 採用者数 [出願者数] は2019年度実績 採用人数には限度があるため、上記基準内であっても採用されない場合があります。

(*2) 単位授業料は、登録単位数に応じて徴収するもの

(*3) ビジネス研究科秋入学生については別日程

(*4) 詳しい出願時期、出願方法に関しては、出願のしおりや本学奨学金ウェブサイト等にて必ずご確認ください。

■司法研究科対象（下記の奨学金以外に、他研究科と同じく日本学生支援機構大学院奨学金、同志社大学短期貸付金の利用が可能です）

名 称	種 類	金 額*2	対 象		採用者数*1	願 書 入 手 時 期	出 願 期 間*4	採 否 決 定	備 考
			家計基準	成績基準					
同志社大学大学院 司法研究科奨学金	給付	①第1類奨学金 〔2年間継続型〕 年間の単位授業料 相当額 ②第2類奨学金 〔単年度給付型〕 年間の単位授業料 相当額 ③第3類奨学金 〔単年度給付型〕 年間の単位授業料 相当額の1/2 2018年度以前に入学 した者には年間登録 単位数に4,000円を乗 じた額を加えて給付	—	勉学意欲旺盛 で、学業人物と もに優秀な者	1年次生 ① 28 ② 10 ③ 8 2年次生 ① 13 ② 5 ③ 8 3年次生 ① 0 ② 2 ③ 0	公募はしない	1年次生 入試合格と 同時 2年次生以上 3月	選考： 1年次生 入学試験の成績による。秋に 補充採用することがある。 2年次生以上 学業成績優秀者の中から選 考	
司法研究科 修学支援奨学金	給付	年間の登録単位数に 8,000円を乗じた額	—	司法研究科正規学生で司法研究 科の推薦のあるもの (司法研究科奨学金と併給はで きない。)	1年次生 0 2年次生 13 3年次生 15	公募はしない	1年次生 入試合格と 同時 2年次生以上 3月		
同志社大学大学院 司法研究科 貸与奨学金	貸与 (無利子)	一学期の金額 ①一学期の単位授業料 相当額 ②一学期の単位授業料 相当額の1/2	学資の支弁に 支障のある者	1年次生 入試合格をも って基準を満 たす 2年次生以上 司法研究科の 推薦による	〔入学前〕 ① 0 ② 1 〔春学期〕 ① 3 ② 0 〔秋学期〕 ① 3 ② 1	1年次生 〔春〕 合格発表後 〔秋〕 7月上旬 2年次生以上 〔春〕 1月上旬 〔秋〕 7月上旬	1年次生 〔春〕 ・前期日程 10月上旬 ・後期日程 2月中旬 〔秋〕 9月中旬 2年次生以上 〔春〕 3月下旬 〔秋〕 9月中旬	1年次生 〔春〕 ・前期日程 11月中旬 ・後期日程 3月上旬 〔秋〕 10月上旬 2年次生以上 〔春〕 4月中旬 〔秋〕 10月上旬	貸与期間：1学期 (学期毎に出願可) 最短修業年限まで出願可 外国人留学生は出願不可 連帯保証人が2名必要 返還は原則として修了時から 貸与回数×3年以内。ただし、 15年を超えないものとする。 願書入手時期・出願期間・採否 決定は予定(変更の場合あり)。
同志社大学大学院 司法研究科 特別支給奨学金	給付	年間 100,000円	—	同志社大学を 卒業、同志社大 学在学3年で飛 び入学又は同 志社大学大学 院を修了し、司 法研究科に入 学した者	29	公募はしない	5月中旬	有資格者全員を採用する。 入学初年度に、各学期5万円を 給付する。	

(*1) 採用者数〔出願者数〕は2019年度実績 採用人数には限度があるため、上記基準内であっても採用されない場合があります。

(*2) 単位授業料は、登録単位数に応じて徴収するもの

(*3) ビジネス研究科秋入学生については別日程

(*4) 詳しい出願時期、出願方法に関しては、出願のしおりや本学奨学金ウェブサイト等にて必ずご確認ください。